

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人

日野町社会福祉協議会

事業の総括

国が進める「地域共生社会」の枠組みでは、地域においてコミュニティを育成することで、地域住民が世代や背景を超えてつながり、相互に役割を持ち、「支え手」「受け手」という関係を超えて支え合う取り組みを進めることとしています。このことにより、「他人事」になりがちな地域づくりを、地域住民が「我が事」として主体的に取り組む仕組みをつくとともに、町においては、地域づくりの取り組みの支援と、公的な福祉サービスへのつながりを含めた「丸ごと」の総合相談支援の体制整備を進めることとなりました。

このように、国の施策が大きく変化する中、日野町地域福祉活動計画（第三次プラン）の後半年として、「住民の参加と自治に根ざした やさしさとぬくもりのある福祉のまち日野」を基本理念と定め、①互いに支え合う地域づくり、②地域で支える人づくり、③地域を支える仕組みづくり、④安心して暮らせる体制づくりの4つの基本目標として取り組みました。特に（1）地域支え合い活動の支援、（2）生活困窮者自立相談支援事業の充実、（3）在宅介護支援事業の適切な事業運営、（4）地域福祉を推進するための社協基盤の強化を重点推進事項として、事業・活動に取り組みました。

（1）地域支え合い活動の支援では、地域における生活課題を住民とともに考え支援するとともに、地域の支え合い活動を推進する生活支援コーディネーターとあわせて、各地区担当職員を配置しました。

また、平成29年度から話し合いを継続されていた東桜谷地区では、令和元年5月に「東桜谷おしゃべり会」を発足され、移動支援及び食事会を始められました。

（2）生活困窮者自立相談支援事業の充実では、近年、働ける年齢層の生活困窮問題だけでなく、子どもから高齢者に至るまで、全世代にわたって、貧困や経済的困窮の問題が顕在化しています。しかも、住民の抱える生活課題は単一ではなく、複雑化・多様化しています。生活困窮者自立支援法に係る自立相談支援事業を滋賀県から受託、相談窓口を開設し、社会的な孤立・孤独から起因する新たな福祉課題、経済的な理由による生活困窮者の相談を受け、きめ細やかな相談支援のネットワークづくりに努め、包括的・継続的な支援を行いました。

（3）介護保険事業や障害者総合支援事業などの在宅介護支援事業においては、適切な事業運営に努め、利用者本位で信頼される質の高い福祉サービスを実施しました。

（4）地域福祉を推進するために社協基盤の強化では、社会福祉法人制度の見直しにより、社協として今まで以上にガバナンスの強化や透明性の確保、公益的な取り組みなどの一層の自覚をもった対応が求められています。社協の高い公益性に照らし、運営の透明性を確保するとともに、利用料や補助金・委託料の確保に努め、予算の効果的・効率的な執行を行いました。

1. 法人運営事業

(1) 会務の運営

役員会等の開催状況

月	日	会 議 名	協 議 事 項
5	30	5月定例監査	・社協、共募平成30年度事業および決算監査
6	12	第1回 理事会	(報告事項) ・日野町社会福祉協議会給与規程の一部改正 (協議事項) ・日野町社会福祉協議会評議員(2名)の推薦 ・平成30年度日野町社会福祉協議会事業報告 ・平成30年度日野町社会福祉協議会収支決算 ・令和元年度第1回評議員会(定時評議員会)の招集
	20	第1回評議員選 任・解任委員会	(協議事項) ・評議員(2名)の選任について
	27	第1回 評議員会	(協議事項) ・平成30年度日野町社会福祉協議会事業報告 ・平成30年度日野町社会福祉協議会収支決算 ・日野町社会福祉協議会理事の選任(任期満了に伴う選任) ・日野町社会福祉協議会監事の選任(任期満了に伴う選任)
	27	第2回 理事会	(協議事項) ・日野町社会福祉協議会会長および副会長の選任について ・日野町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
8	22	8月定例監査	・社協第1四半期(4月～6月)事業および会計監査
11	13	第3回 理事会	(報告事項) ・職務の執行状況報告 (協議事項) ・令和元年度日野町社会福祉協議会第1次資金収支補正予算 ・令和元年度第2回評議員会の招集
	27	第2回 評議員会	(協議事項) ・令和元年度日野町社会福祉協議会第1次資金収支補正予算
	29	11月定例監査	・第2四半期(7月～9月)事業および会計監査 ・在宅介護事業の現状について

2	26	2月定例監査	<ul style="list-style-type: none"> ・社協第3四半期（7月～9月）事業および会計監査 ・共募募金委員会（4月～12月）事業および会計監査 ・令和元年度補助金および委託料（受託事業）について
3	13	第4回 理事会	<p>（報告事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野町社会福祉協議会給与規程の一部改正 ・財政援助団体等に対する監査の結果報告 ・物品購入契約 <p>（協議事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野町社会福祉協議会評議員（1名）の推薦 ・令和元年度日野町社会福祉協議会第2次資金収支補正予算 ・令和2年度日野町社会福祉協議会事業計画 ・令和2年度日野町社会福祉協議会資金収支予算 ・令和元年度第3回評議員会の招集（報告事項）
	24	第2回評議員選任・解任委員会	<p>（協議事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員（1名）の選任について
	27	第3回 評議員会	<p>（協議事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野町社会福祉協議会理事（1名）の選任 ・令和元年度日野町社会福祉協議会第2次資金収支補正予算 ・令和2年度日野町社会福祉協議会事業計画 ・令和2年度日野町社会福祉協議会資金収支予算

役員活動

月	日	内 容
9	4・5・9	企業訪問（賛助会費の納入依頼）
	10	敬老訪問（90歳到達者、95歳以上 対象者239名のうち 96名訪問）
11	6・7	企業訪問（赤い羽根法人募金依頼）

会長・副会長会議の開催状況

月	日	内 容
6	5	<p>理事会・評議員会への報告・提案事項についての協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野町社会福祉協議会給与規程の一部改正 ・日野町社会福祉協議会評議員（2名）の推薦 ・平成30年度日野町社会福祉協議会事業報告 ・平成30年度日野町社会福祉協議会収支決算 ・令和元年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集

3	10	理事会・評議員会への報告・提案事項についての協議
		<ul style="list-style-type: none"> ・日野町社会福祉協議会給与規程の一部改正 ・財政援助団体等に対する監査の結果報告 ・物品購入契約 ・日野町社会福祉協議会評議員（1名）の推薦 ・令和元年度日野町社会福祉協議会第2次資金収支補正予算 ・令和2年度日野町社会福祉協議会事業計画 ・令和2年度日野町社会福祉協議会資金収支予算 ・令和元年度第3回評議員会の招集（報告事項）

(2) 職員の研修と人材育成

【総務・地域福祉】

①個別研修

ア. 全社協中央福祉学院主催研修

社会福祉法人会計実務講座初級コース・中級コース

自立相談支援事業従事者養成研修【後期】相談支援員養成研修

自立相談支援事業従事者養成研修【後期】就労支援員養成研修

イ. 県社協主催研修

社協職員新任研修

ウ. 介護サービス事業者協議会連合会主催研修

労務管理研修

エ. 介護労働安定センター主催研修

介護労働者の雇用管理責任者講習

【ひだまり事業所】

①全体研修の実施 月1回（毎月第4木曜日）

実施日	研修内容	備考
4月26日	日野町社会福祉協議会の理念・方針および事業計画について	法人研修
5月24日	健康経営について	衛生推進者
6月28日	食中毒予防について	管理栄養士
7月26日	救命・自動体外式除細動器（AED）の取り扱いについて	㈱サニクリーン近畿
8月22日	腰痛予防について	あいのき鍼灸整骨院

9月26日	嚥下障害と誤嚥性肺炎について	
10月24日	消火訓練、防災対策	防火管理者
11月28日	人権学習	町企画振興課職員
12月20日	職員交流研修会（意見交換）	
1月23日	認知症と生活リハビリ	
2月27日	認知症の診断と治療	
3月26日	福祉用具の使用について	ゆめさと福祉用具 相談員
随時	交通安全について	

②個別研修

ア．滋賀県社会福祉協議会主催研修

介護支援専門員現任研修

滋賀の福祉人材育成研修

イ．介護サービス事業者協議会主催

講演会、全体研修会、各部会研修

ウ．その他

日野町福祉施設等連絡協議会研修会

わたむきねっと研修会

ちいきふくし講座

東近江退院支援ルール研修会

公立甲賀病院健康講座

滋賀県ホームヘルパー協議会研修会

(3) 地域福祉権利擁護事業

認知症・知的・精神に障害があり、判断能力が十分でない人を対象に、その人の自立・自己選択・意思決定を支えるため、福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理・書類等の預かり支援を実施。

生活支援員1名 生活指導員・専門員活動件数 延べ2,284回(R2.3末) (人)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計	H30(参考)
0	20	16	2	38	40

(4) 広報啓発活動

広報の発行 「福祉ひの」 全戸配布 (年5回)

第162号、第163号、第164号、第165号、第166号

ホームページの更新 <http://www.hinoshakyo.or.jp/> (平成28年3月31日公開)

(5) 福祉活動関係団体等への支援

日野町民生委員児童委員協議会／日野町老人クラブ連合会／日野町身体障害者更生会
／日野町赤十字奉仕団／日野町母子福祉のぞみ会／日野町手をつなぐ育成会／日野町
遺族会／東近江保護区保護司会日野地区会／日野地区更生保護女性会／日野町社会福
祉施設等連絡協議会／社会を明るくする運動推進委員会

2. 地域福祉事業

(1) 福祉の学習事業

①地域福祉講座 (ちいきふくし講座)

《第1回目》

令和元年9月4日(水) 19:30~21:00 (参加者152人)

「おおきなお世話で大成功!!お互いさまの支え合い」

講師: 夢こらぼ主宰 松尾 やよい 氏

《第2回目》

令和元年9月28日(土) 13:00~16:00 (参加者132人)

「ちいきふくし講座&ボランティアまつり」

②福祉協力員等研修会

令和元年6月27日(木) 19:30~21:30 (参加者153人)

「誰もが安心して暮らせる地域をつくろう」

講師: 京都華頂大学 教授 藤井 伸生 氏

(2) 住民参加による地域福祉事業

①地区社協活動

- ・日野地区社協・東桜谷地区社協・西桜谷地区社協・西大路地区社協・鎌掛地区社協・南比都佐地区社協・必佐地区社協
- ・宇福社会の連絡調整、住民研修会、先進地視察、地域に合った特色ある活動等を随時開催

②地区社協正副会長会議

第1回(7月31日)

内容: 敬老会、助成金、各地区社協活動の情報交換等

第2回(11月6日)

内容: 講演「東近江地区の地域福祉活動について」

講師 特定非営利活動法人 加楽 理事長 楠神 渉 氏

③字福社会活動

・町内83字中59字発会

④ふれあいいきいきサロン

・町内50箇所開設(年6回以上)

⑤サロン&カフェ交流会(8月6日)

⑥子育てサロン

- ・日野地区社協(子育てサロンパイン) 年間23回開催
- ・東桜谷地区社協(子育てサロンさくらっこ) 年間21回開催
- ・西大路地区社協(西大路ちびっこサロン) 年間22回開催
- ・南比都佐地区社協(仲よし会) 年間17回開催
- ・必佐地区社協(必佐子育てひろば) 年間23回開催

⑦配食サービス(地区社協)

・西桜谷地区 7回実施(延べ配食数319食)

⑧児童遊園地整備助成 1箇所(蔵王) 計10,000円

⑨「命のバトン事業」の啓発と推進

①民生委員・児童委員による啓発・点検・見守りの推進

②地区社協や字福社会への協力と呼びかけ

③福祉協力員への見守り等の依頼 (令和2年3月末現在)

地区	日野	東桜谷	西桜谷	西大路	鎌掛	南比都佐	必佐	合計
世帯数	604	148	66	250	51	216	420	1,755

⑩敬老会の開催 (年齢75歳以上) [単位:人]

地区名	日野	東桜谷	西桜谷	西大路	鎌掛	南比都佐	必佐	合計
実行委員数	100	100	70	100	58	100	105	633
参加者数	1,023	370	255	403	157	361	819	3,388

※東桜谷地区および必佐地区においては、各字単位で開催

⑪「令和元年心ふれあう福祉のつどい」の開催

日時: 令和元年11月23日(土・祝) 12時45分~15時35分

場所: 日野町町民会館「わたむきホール虹」大ホール・ふれあいホール

参加者: 331人

テーマ: 「広げよう 地域のふれあい 支えあい」

~地域に広げよう お互いさまのころ~

オープニング: あかり歌謡倶楽部

式典・表彰式 : 日野町社会福祉協議会会長表彰・感謝状

地域の取り組み発表 : 東桜谷おしゃべり会

福祉教育推進校発表校 : 桜谷小学校

社会を明るくする運動作文発表: 日野小学校 5年 朝日 千尋さん

日野中学校 1年 小田 実怜さん

ふれあいいいききサロンの寸劇: 社協職員

フラダンスの発表: アロハフラファクトリー、アロハフラファクトリー・ケイキ

福祉団体、宇福祉活動の展示紹介:

日野町健康推進協議会、保健センター、日野町手をつなぐ育成会、日野町ボランティア団体連絡協議会、日野地区1字、東桜谷地区2字、西桜谷地区1字、西大路地区8字、鎌掛地区1社協、南比都佐地区8字

サロン・カフェ・子育てサロンの作品展示紹介:

ゆかいな寺子屋、鎌掛2区いきいきサロン、杉ほっこりカフェ、下駒月しあわせカフェ、子育てサロンパイン、西大路ちびっこサロン、必佐子育てひろば、金曜サロン(町社協)

託児 : なし

その他 : 赤い羽根共同募金コーナー(協力: 日野町ボランティア団体連絡協議会)、健康コーナー、健康推進員による啓発、わたむきの里作業所自主製品販売

(3) 心配ごと相談事業

① よろず相談・法律相談事業

住民の暮らしにかかわる困りごと等の解決に向け、民生委員児童委員活動と連携しながら側面的に支援し、必要に応じて他機関を紹介する橋渡しの相談所として開設。また、法律的な専門知識が必要な困りごとは、弁護士による相談所を開設。

○相談員研修: 3月4日(水)

講師: 龍谷大学社会学部非常勤講師 扇田 宗親 氏

内容: 「相談を受けるときの考え方や相談者への接し方」について

○よろず相談所運営状況

開設日

- ・法律相談(予約制) 毎月第1月曜日 午後1時30分~午後4時 勤労福祉会館
- ・よろず相談 毎週木曜日(第3木曜日除く) 午前9時~正午 勤労福祉会館

○相談員の構成

- ・法律相談員 大津市京町法律事務所 伊藤 慧 弁護士

草津市あけぼの法律事務所 こはら たくお 小原 卓雄 弁護士

・よろず相談員 20名（別に常設相談員として社協職員1名）

○相談内容別件数

相談事項	相談体制別件数			計	相談事項	相談体制別件数			計
	法律	よろず	常設			法律	よろず	常設	
生計	0	0	0	0	財産	29	4	0	33
年金	0	0	0	0	事故	1	0	0	1
職業・生業	1	1	0	2	児童福祉	1	0	0	1
住宅	6	1	0	7	教育・青少年	0	0	0	0
家族	13	6	0	19	障害者福祉	2	0	0	2
結婚	0	0	0	0	父子母子寡婦福祉	3	0	0	3
離婚	6	2	0	8	高齢者福祉	3	0	0	3
健康	2	0	0	2	苦情	0	0	0	0
医療	1	0	0	1	その他	1	5	0	6
精神・保健	0	0	0	0					
人権・法律	7	3	0	10	合計	76	22	0	98

(4) 生活困窮者自立相談支援事業

生活に困りごとや不安を抱えている人に対し、支援員が相談を受けて、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。

- ・相談受付件数 13件
- ・プラン作成件数 2件
- ・支援調整会議 12回

(5) 地域生活支援事業

①在宅介護支援事業

○ふれあい通所サロン事業（金曜サロン）

実施日：毎週金曜日

場所：日野町勤労福祉会館

対象者：地域包括支援センターで選定された高齢者および身体障がい者（申込み数 14人）

利用者負担金：1回 1,000円

実施回数：47回 延べ利用者数：313人

○在宅介護者のつどい

日 時：令和元年11月25日（月）10時から15時

場 所：近江八幡市 八幡堀巡り

内 容：在宅介護当事者相互の情報交換会、交流会、会食等

参加者：2人 スタッフ3人（社協職員・包括職員）・民児協会長・民児協高齢者
部会長

○ほっこりカフェ（10回）

基本、偶数月第3木曜日、奇数月第3水曜日（8月除く）13時から15時

介護者が一時的に介護から離れ、心身のリフレッシュを図るとともに、介護者同士の情報交換、交流を目的とする。

内 容：小物作り、絵てがみを楽しもう、おしゃべりカフェ、男性介護者のつどい
い他

参加者：延べ53人 スタッフ1～2人（社協職員1～2名）

3. ボランティアセンター事業

ボランティア活動への支援を行い、育成に努める。

(1) ボランティア連絡協議会への支援

ボランティア連絡協議会 会議開催 5回

令和元年9月28日（土）ちいきふくし講座&ボランティアまつり（参加者72人）

日野高校「ボランティア体験学習」協力、「令和元年心ふれあう福祉のつどい」協力

(2) 子どもの日の行事助成

地区名	行事名	開催場所	月	日	参加者（役員含）
日野	日野地区5月子ども大会	日野公民館	5	12	130名
東桜谷	東桜谷地区 子どもの日の集い	東桜谷公民館	5	25	75名
西桜谷	子ども大会	西桜谷公民館体育館	5	6	49名
西大路	西大路の子どもみんな集まれー！	西大路公民館	5	12	36名
鎌掛	子どもの日清掃スタンプラリー	鎌掛公民館周辺	5	5	36名
南比都佐	南比子ども大会	南比都佐公民館・南比都佐小学校体育館・グラウンド	5	5	82名

地区名	行事名	開催場所	月	日	参加者（役員含）
必 佐	第 71 回必佐地区子ども大会	必佐公民館	5	12	289名

(3) 福祉教育の推進

・町社協福祉教育活動助成

学校名	活 動 内 容
日野小学校	支援学級の友だちのことを知ろう、視覚障害者に関する理解を深めよう、一人暮らしのお年寄り宅を訪問「ほのぼの交流」、あおぞら園読み聞かせの訪問、障害に関する理解を深めよう、赤い羽根共同募金活動、一日入学、ペットボトルキャップを集めよう
桜谷小学校	一人暮らしのお年寄りとの交流、小園交流、昔体験、国際理解交流、昔体験・昔学習、障害者施設・福祉施設訪問、赤い羽根共同募金活動、人権集会、給食週間
西大路小学校	人権集会、学習フェスタ、総合（バリアフリーについて学ぶ）、ジャンボ年賀状
南比都佐小学校	幼稚園との交流、聾話学校・八日市養護学校との交流、「誉の松」訪問、人権集会・校内人権週間
必佐小学校	命とのふれあい、昔あそびをしよう、アイマスク体験、新1年生（幼稚園児）との交流、車いす体験
日野中学校	ペットボトルキャップの回収、ふわふわ言葉、サマーホリデー支援活動、ひのたに園慰問コンサート、わたむきの里との交流、リスタあすなるにてクリスマスプレゼントを贈る活動、赤い羽根の募金活動
日野高校	福祉ボランティア体験学習（講演）、「白寿荘」「ひのたに園」入居者と交流、「わたむきの里作業所」仕事体験・交流、「日野記念病院」仕事体験

・福祉教育推進校担当者会議（町内5小学校と中学校・高校） 開催日：6月21日

(4) 子育て支援

- ・おもちゃ図書館の開設 日野町保健センター ホール
開設ボランティア「かみふうせん」 月2回（第2・第3金曜日）
年21回開催 延べ参加者数 572人

4. 生活福祉資金貸付事業（実施主体：滋賀県社会福祉協議会）

既存の制度では対応しきれない制度の狭間の問題や、生活困窮等の新たな福祉課題に対応するため、住民が安心して生活していけるようセーフティネット機能の充実・強化を図る。

・生活福祉資金貸付件数

総合支援資金	相談	1人	貸付	0人
福祉資金				
緊急小口資金	相談	9人	貸付	3人
福祉費	相談	9人	貸付	1人
教育支援資金	相談	4人	貸付	1人
生活復興支援資金	相談	0人	貸付	0人
不動産担保型資金	相談	0人	貸付	0人

5. 善意銀行運営事業

住民の皆さまから善意のこもった金銭や物品をお預かりし、その善意をさまざまな地域福祉事業で役立てようとするもの。

(1) 現金預託 払い出し

預託：	19件	560,355円（一般寄付470,355円、指定寄付90,000円）
備品使用料：		33,600円
小口資金返金		28,720円
利息：		321円
合計		622,996円

現金払い出し

用途	金額	備考
車椅子	156,000円	車椅子2台
生活援助	28,903円	生活困難者食品援助等
指定寄附	90,000円	福祉施設、東日本大震災義援金等
住宅災害見舞金	22,610円	見舞金3件、振込手数料
貸出備品助成	950,068円	公民館助成備品、振込手数料
小口資金貸付	28,720円	生活困窮者貸付
歳末助成事業	25,004円	精米代、米袋代
ボランティアセンター事業	192,000円	ボランティアグループ助成
合計	1,493,305円	

預託計 622,996 円 - 現金払い出し 1,493,305 円 = △870,309 円
 令和元年度期末残高 4,928,903 円

(2) 物品預託 払い出し

預託： 31件

預託	件数	払い出し先
食品	27	町内福祉施設・要援護者へ
衣類	0	
福祉機器	2	貸し出し用・指定寄付へ
外国人指定	0	
その他	2	町内福祉施設へ

(3) 善意銀行備品等の貸し出し

【福祉機器】 ・車いす (貸出回数79件) ・ベッド (利用回数4件)

【イベント機器】 使用料：33,600円 (貸出回数67回×500円、1回×100円)

機器名 (保有台数)	貸出し回数	機器名 (保有台数)	貸出し回数
ポップコーン機 (1台)	7回	かき氷機 (2台)	13回
たいやき機 (1台)	2回	綿菓子機 (2台)	15回
やきそば鉄板 (5台)	15回	たこやき機 (1台)	1回
炊飯器 (5台)	6回	焼き鳥機 (1台)	3回
鍋 (4個)	1回	もちつき臼 (1式)	3回
コンロ (2台)	2回	サンタ衣装 (2組)	0回

(4) 資金貸付

・小口資金貸付 1件 貸付金額 28,720円

(5) 住宅災害見舞金

・一部損壊 (延べ床面積の10%以上30%未満)

7,500円×3件 22,500円

6. 勤労福祉会館管理受託事業

指定管理者として会館の管理運営ならびに施設および設備の管理を適正に行った。

(利用団体数 延べ844団体 利用人数 延べ9,333人 利用料65,100円)

7. 共同募金配分金事業

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組む。

(1) 赤い羽根共同募金 10月1日から12月31日まで

目標額 2,260,000円 実績額 2,147,531円

<実績額内訳> (単位：円)

種別	戸別	街頭	法人	学校	職域	イベント	その他	合計
実績額	1,351,358	12,502	434,000	33,588	227,685	8,336	80,062	2,147,531

(2) 赤い羽根共同募金の配分 (配分金 1,049,675円)

○高齢者福祉活動費 計123,142円

敬老訪問事業 (239件 90,342円)、百歳祝い (6件 32,800円)、ひとり暮らし高齢者防火訪問 (0件 0円 ※新型コロナウイルスの影響で中止)

○障がい児・者福祉活動費

放課後クラブ「ともだち」活動助成 (40,000円)

○児童・青少年福祉活動費

こどもの日の行事助成 (7件 100,000円)

○住民全般福祉活動費 計786,533円

児童遊園地整備助成事業 (1件 10,000円)、福祉活動推進校活動助成 (7件 140,000円)、命のバトン啓発活動 (21,600円)、地区社協配食サービス事業助成 (1地区 25,600円)、福祉ひの発行 (2件 86,625円)、いきいきサロン活動助成 (340,000円)、こんにちは赤ちゃん訪問事業 (48,004円)、子育てサロン活動助成 (57,000円)、健康マージャンセットの購入 (57,704円)

(3) 歳末たすけあい募金 12月1日から12月31日まで

目標額 1,430,000円 実績額 1,268,451円

<実績額内訳> (単位：円)

種別	戸別	街頭	法人	学校	職域	イベント	その他	合計
実績額	1,260,070	—	—	—	—	—	8,381	1,268,451

(4) 歳末たすけあい募金の配分 (配分金 1,113,310円)

令和元年度から日野町共同募金委員会直営事業

○歳末援助費 計664,000円

歳末たすけあい訪問事業【障がい児・者世帯 (50世帯 150,000円)、高齢者世

帯（132世帯 396,000円）、ひとり親世帯（27世帯 81,000円）、その他（9世帯 27,000円）、事業用品購入（10,000円）】

○歳末事業費 計 449,310円

歳末支え合い事業（38箇所 579人 289,310円）、歳末たすけあい募金助成事業（6件 160,000円）

8. その他の委託事業

（1）介護予防事業（町受託事業）

高齢者に対し、認知症や要介護状態にならないための介護予防サービスを提供する。このことにより、在宅高齢者に対し生きがいや健康づくりを進め、寝たきり予防のための知識の普及や啓発等により健やかで活力ある地域づくりを推進する。

①日野町介護予防普及啓発事業（「おたっしや教室」開催等）

対象者：各地区の一般高齢者（概ね60歳以上）

会場：各地区集会所等

内容：転倒骨折予防に効果のある体操等を実施しながら、身近な地域での仲間づくりを進める。

実施地区：（おたっしや教室）

実施地区なし

（おたっしや教室フォロー） 実施地区なし

（おたっしやフォローアップ教室） 大窪3区・大窪5区御舍利町・大窪5区
富久寿会・小井口・木津・上野田・川原・
野出・西大路公民館・西大路1区・仁本
木・北畑・鎌掛公民館・下駒月・内池西・
猫田・十禅師・小御門・中山東・中山西・
豊田・湖南サンライズ

実施回数および参加者数：（おたっしやフォローアップ教室）114回 1,109人

②日野町介護予防普及啓発事業（「男性おたっしや教室」開催等）

対象者：日野町在住の概ね60歳以上の男性

会場：必佐公民館

内容：転倒骨折予防に効果のある体操等を実施しながら、身近な地域での仲間づくりを進める。

実施回数および参加者数：24回 398人

③運動サポーター養成講座（8回）

開催日：10/10、10/17、10/24、10/31、11/7、
11/14、11/21、11/28

場 所：勤労福祉会館、日野消防署

内 容：介護予防について、介護予防運動、作業療法士の話、歯科衛生士の話、
管理栄養士の話、救命講習、認知症について

講 師：運動指導士、作業療法士、管理栄養士、介護支援課職員、歯科衛生士、
消防署職員、キャラバンメイト

参加者：延べ51人

④認知症予防「脳いきいきゲーム」

○「脳いきいきゲーム養成講座」

開催日：5/21、5/28、6/4、6/11、6/19

場 所：勤労福祉会館及び小野会議所（地域実践教室参加）

内 容：認知症予防ゲームの理念及びゲームについての講義・実技を学ぶ

講 師：NPO法人認知症予防ネット 理事 中村 都子 氏
認定講師 平岡 浩子 氏

参加者：5名 〃 川上 伸子 氏

○脳いきいき教室（脳いきいきゲームを活用し、地域住民の体験及び養成講座修了生の実践）

・上野田地区

開催期間：7月～3月まで月1回、計9回開催 参加人数 延べ180人

講師：NPO法人認知症予防ネット認定講師 平岡 浩子 氏

川上 伸子 氏

○「脳いきいきゲーム」リーダー スキルアップ講座

開催期間：令和2年2月6日

場 所：勤労福祉会館

講 師：社会福祉協議会職員

参加者：15名「脳いきいきゲーム養成講座」修了生

但し、H28・H29・R元年度修了生と地域で実践しているリーダーを対象とした。

(2) 日野町地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）の設置

介護予防や地域における居場所づくり、生活支援活動の連携と地域包括ケアシステムの基盤となる「地域づくり」を担う「地域支え合い推進員」（生活支援コーディネーター）を配置。（平成28年度から継続）

主な活動内容：地域資源の把握・整理、出前講座の実施、広報での事例紹介、地域ケア会議との連携、協議体への参画等

9. 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業・介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

《居宅介護支援サービスひだまり》

住み慣れた居宅において出来るだけ自立した生活が営めるよう、ご本人、家族の希望や状況をおうかがいし、心身の状態を考慮しながら、必要なサービスを相談し、介護支援計画を作成、サービス提供機関との連絡・調整を行いました。

【利用実績】

() は前年度

区分	延べ利用実人員	月平均
介護給付	985人 (924人)	82.1人 (77.0人)
予防給付	222人 (237人)	18.5人 (19.8人)
計	1,207人 (1,161人)	100.6人 (96.8人)

(2) 訪問介護事業（訪問介護相当サービス事業）

《ホームヘルプステーションひだまり》

利用者が居宅において自立した生活が営めるよう訪問介護員（ホームヘルパー）が居宅を訪問し、介護サービスの提供を行いました。

【利用実績】

() は前年度

区分	延べ利用実人員	延べ利用人数
介護給付	753人 (697人)	11,085人 (9,617人)
予防給付	112人 (159人)	635人 (894人)
計	865人 (856人)	11,720人 (10,511人)
月平均	72.1人 (71.3人)	976.7人 (875.9人)

(3) 地域密着型通所介護事業（通所介護相当サービス事業）

《デイサービスひだまり》

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、通所介護サービスを希望され

る場合に、デイサービスの提供を行いました。

① 利用実績

() は前年度

開設日	256 日 (255 日)	
区分	延べ利用実人員	延べ利用人数
介護給付	302 人 (293 人)	2,453 人 (2,615 人)
予防給付	60 人 (80 人)	401 人 (541 人)
計	362 人 (373 人)	2,854 人 (3,156 人)
月平均	30.2 人 (31.1 人)	237.8 人 (263.0 人)

② 運営推進会議の開催

第1回運営推進会議

開催日 6月4日(火)

会議内容 平成30年度下半期事業報告ならびに要望・意見等

第2回運営推進会議

開催日 10月23日(水)

会議内容 令和元年度上半期事業報告ならびに要望・意見等

③ 消防訓練の実施

5月22日(水) 通報訓練、デイサービス利用者避難訓練、消火訓練

10月24日(木) 消火訓練、防災対策について

④ 消防用設備等法定点検

8月6日(火) 機器点検 全てにおいて消防法に適合

2月18日(火) 総合点検 全てにおいて消防法に適合

日野消防署へ消防用設備等法定点検報告書を提出しました。

10. 障害者総合支援事業

《ホームヘルプステーションひだまり》

障害者自立支援支給決定を受けた者(児)が居宅において日常生活ができるよう、訪問介護員を派遣し、入浴等の介護、家事援助等必要な便宜を供与する。

(1) 居宅介護事業

【利用実績】

() は前年度

区分	延べ利用実人員	延べ利用人数
利用数	131 人 (131 人)	1,656 人 (1,616 人)
月平均	10.9 人 (10.9 人)	138.0 人 (134.7 人)

(2) 同行援護事業

【利用実績】

() は前年度

区分	延べ利用実人員	延べ利用人数
利用数	9人 (11人)	13人 (17人)
月平均	0.8人 (0.9人)	1.1人 (1.4人)

1.1. 在宅生活支援事業

(1) 障害者移動援護事業 (町からの委託事業)

《ホームヘルプステーションひだまり》

屋外での移動に制限のある障がい者が外出のための支援を行いました。

【利用実績】

() は前年度

区分	延べ利用実人員	延べ利用人数
利用数	12人 (12人)	12人 (12人)
月平均	1.0人 (1.0人)	1.0人 (1.0人)

(2) 福祉輸送事業

《ホームヘルプステーションひだまり》

視覚障害のある方に対し、介護給付費支給決定の内容に基づき、訪問介護員が障害福祉サービスと一体として輸送サービスを行いました。

【利用実績】

() は前年度

区分	延べ利用実人員	延べ利用人数
利用数	0人 (1人)	0人 (2人)
月平均	0人 (0.1人)	0人 (0.2人)

家族送迎や介護タクシーを利用されるようになり、利用はありませんでした。

1.2. その他の事業

(1) 日野町総合防災訓練への参加

日 時：令和元年9月1日 (日)

場 所：南比都佐地区 (南比都佐小学校)

内 容：災害ボランティアセンター設置運営訓練

日野町赤十字奉仕団炊き出し訓練支援

13. その他の団体への支援

(1) 民生委員児童委員活動の充実

- 民生委員児童委員協議会全員研修 年2回
- 県民児協連合会蒲生支部全員研修 年1回
- 代表委員会 毎月1回
- 退任式 令和元年11月30日
- 民生委員児童委員協議会全員協議会 令和元年12月1日

《各地区の活動》

地区	活動内容
日野地区	地区会、小学校との懇談会、日野小学生との「ほのぼの交流」、歳末たすけあい訪問、地区役員会、子育てサークル支援、敬老会、ゆかいな寺子屋、公民館・ひのたに園納涼祭、研修会
東桜谷地区	地区会、通学合宿実行委員会への参加、先進地視察研修、敬老会（各字）、小学校PTA地区別懇談会、「ふれあい・ささえ愛・つなぎ愛」
西桜谷地区	地区会、地区社協配食、友愛訪問、歳末たすけあい訪問、先進地視察、通学合宿実行委員会への参加
西大路地区	地区会、地区社協福祉関係者研修会、敬老会、小学校教職員との懇談会、地区社協3役会、子育てサロン支援、研修会
鎌掛地区	地区会、日野小学生との「ほのぼの交流」、歳末たすけあい訪問、地区社協「世代間交流のつどい」、研修会、講演会、自主防災会議
南比都佐地区	地区会、歳末たすけあい訪問、納涼祭に参画、敬老会、通学合宿実行委員会への参加、研修会、戦没者慰霊祭への参加
必佐地区	地区会、敬老会（各字）、先進地視察、子ども見守り会、福祉協力員各字代表者会議

災害義援金への協力 6件

- 令和元年8月豪雨災害義援金、
- 京都府京都市伏見区で発生した放火事件に係る被害者義援金、
- 令和元年台風15号千葉県災害義援金 ○令和元年台風15号東京都義援金、
- 令和元年台風19号災害義援金 ○NHK 海外たすけあい

町内での火事の炊き出し 1件

14. その他

【総務・地域福祉】

(1) 日野町福祉施設等連絡協議会への協力（日野町内福祉施設9施設1社協）

日野町内の社会福祉施設相互の交流、連絡調整を図るとともに、施設と地域の連携を密にし、施設の充実、地域福祉の向上に寄与することを目的とするもの。

- ・会議開催 6月10日 わたむきの里共同作業所
- ・研修会 9月20日 映画上映会「星に語りて」 わたむきホール虹
(日野町介護・福祉人材確保定着支援事業)
- ・懇親会 11月8日 ブルーメの丘

(2) 第69回社会を明るくする運動

日野町推進委員会 (6月6日)

街頭啓発 (7月1日)

日野大会 (7月8日)

講演：「子どもの心を「ふっくらと」育むために」於：日野町林業センター

日野町子育て・教育相談センター 参事 赤尾 宗一 氏

【ひだまり事業所】

(1) 介護サービス情報の公表

公表 令和元年11月 厚生労働省および滋賀県のホームページ

(2) 障害福祉サービス情報の公表

公表 令和2年3月 厚生労働省および滋賀県のホームページ

(3) 介護保険サービスの自己評価の公表

公表 令和2年1月

滋賀県東近江健康福祉事務所、日野町長寿福祉課、事業所内閲覧提供

(4) 障害福祉サービスの自己評価の公表

公表 令和2年3月

滋賀県健康福祉部障害福祉課、滋賀県健康福祉事務所、
日野町福祉保健課、事業所内閲覧提供